

「東海第二発電所 防災訓練実施結果報告書」の要旨

１．報告内容

東海第二発電所 防災訓練実施結果

２．報告年月日

２０２２年６月８日

３．防災訓練実施結果の主な内容

東海第二発電所原子力事業者防災業務計画に基づく訓練

防災訓練実施年月日	２０２２年３月４日
想定した 原子力災害の概要	新規制基準適合後定格熱出力一定運転中の東海第二発電所において、地震（東海村震度６弱）の影響を受け、原子炉が自動停止、高圧炉心スプレイポンプ室での火災発生、残留熱除去系（Ａ）熱交換器室内での原子炉隔離時冷却系／常設高圧代替注水系共通駆動蒸気の漏洩が発生する事象を想定した。また、２度目に発生した地震（東海村震度６強）の影響を受け、全交流電源が喪失し、全ての原子炉の冷却機能が喪失、炉心損傷が発生し、原子力災害対策特別措置法（以下、「原災法」という。）第１５条に該当する事象に至る原子力災害の発生を想定した。（東海発電所と同時発災）
参加人数	合計２４０名 （社員２１７名、関係会社・協力会社社員２３名）
防災訓練の内容	上記の想定した原子力災害を受けて、以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施。 【東海第二発電所における訓練】 (1) 本部運営訓練 (2) 通報連絡訓練 (3) 緊急時環境モニタリング訓練 (4) 発電所退避者誘導訓練 (5) 原子力災害医療訓練 (6) 全交流電源喪失対応訓練 (7) シビアアクシデント対策訓練 (8) 原子力緊急事態支援組織対応訓練 (9) 原子力防災センター訓練 【本店における訓練】 (1) 発電所災害対策活動支援対応訓練 (2) E R C対応班運営訓練 (3) 原子力事業所災害対策支援拠点の選定訓練 (4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 (5) 広報対応訓練 (6) 原子力緊急事態支援組織対応訓練 (7) 原子力防災センター訓練
防災訓練結果の概要	訓練結果の概要は以下のとおり。 【東海第二発電所における訓練】 防災訓練の内容(1)、(3)～(9)について、適切に実施されたものの(2)通報連絡訓練において改善すべき課題が抽出された。 【本店における訓練】 防災訓練の内容のうち(1)、(3)～(7)については、適切に実施されたものの、(2) E R C対応班運営訓練において、改善すべき課題が抽出された。

4. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

(1) 訓練において確認された改善を要する事項

①通報文に誤記等が発生した場合の対応

- ・要素訓練として通報連絡訓練を発電所情報班内で実施し、通報文の重要性・迅速な対応・正確な通報文の作成を意識付けするとともに、通報文に誤記等があった場合でも適切に訂正報の発出ができるよう、繰り返し教育訓練を実施する。また、訓練で使用する評価チェックシートには、訂正報の対応項目を追加し評価することにより、対応手順の習熟及び定着化を図る。
- ・訂正内容（誤記修正、追記、E A L 訂正、F A X 一部未送信時の再送等）に応じた手順や記載例を整備し、要員への教育、要素訓練による習熟及び定着化を図る。
- ・通報文の誤記等を防止するため、通報文の確認チェックシートの活用等についても検討を行う。

②原子炉注水機能喪失を伴う操作におけるプラント影響有無等の説明内容の充実化

- ・蒸気漏えい等による隔離操作を実施したことで、作動中の機器の機能が喪失することによる、特定事象（施設敷地緊急事態又は全面緊急事態）に該当する事象と、そのプラントへの影響有無等を整理、本店本部ルール集に反映して要員への教育、要素訓練による習熟及び定着化を図る。

以 上